

学校教育目標 「進んで学ぶ子・心の豊かな子・明るく元気な子」



狭山小だより

「誰からも信頼される、明るく元気な学校」

令和8年度
第7号
10月28日発行
児童数316名
TEL 04(2934)2077

「思いやりの心を持って、
いじめゼロの狭山小にしましょう。」

いじめがあったら、すぐに相談しましょう。

校長 田島 浩

11月

今月17日（土）に開催した市制60周年記念「運動会」に、朝早くから大勢の保護者や地域の方々にお集まりいただきありがとうございました。皆様からの声援で、子供たちはとても張り切っていました。「全力で仲間とともに 燃えろ 狭山！」のスローガン通りに、子供たちはこれまでの練習の成果を存分に発揮してくれました。また、閉会式後の片付けまで多くのPTA役員さんや保護者の方、中学生に手伝っていただき感謝申し上げます。

さて、埼玉県では毎年11月を「いじめ撲滅強調月間」としています。「いじめ」とは、

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

いじめ防止対策推進法第2条



と記載されています。子供たちにはわかりやすく、「いじめ」とは、いじめられている人が「いじめ」と感じたら、それがいじめと伝えていきます。

では、いじめをなくすにはどうしたらよいのでしょうか。私は相手の立場になって考え、**思いやりの心を持つことでいじめはなくなる**と信じています。そして自分が人にされて嫌なことは、相手に絶対にしないことです。

ところがいじめは、どの学校・学級にも起こるものです。そしてどの子供も、いじめられたりいじめたりすることがあります。講話朝会で、**もしいじめがあったときには、我慢しないで、一人で悩まないで、すぐに誰かに相談する**よう話しました。もしお子さんからいじめの話がありましたら、耳を傾けてあげてください。学校にも連絡をください。

狭山小の教職員は「いじめは許さない。」という態度で臨みます。そして、いじめられた子供を守るとともに、いじめた子供には指導を行います。また、どちらの保護者にも連絡を入れます。子供たちの学校生活をよく観察して、「いじめ見逃しゼロ」をめざします。もしいじめの事実が確認できたときには、解決に向けて努力します。「再発防止」にも力を注ぎます。狭山小の子供たちが、安全で安心して学校生活を送れることが私たちの願いです。

10月の学校生活

11月の生活目標 「言葉づかいに気をつけよう。」

【小学校体育祭（南ブロック）】10月1日（木）5・6年



本校が会場校となり金子小や宮寺小、新久小の子供たちと、60m走や50mハードル走、走り幅跳び、走り高跳び、ボール投げ、400mリレーを競技しました。短期間の練習でしたが、自分の目標に向かって一生懸命努力する姿はとても立派でした。当日は狭山小だけでなく、他校の応援もしっかりとできました。他校の保護者や教員からもお誉めの言葉をいただきました。1～4年生も運動場に出て、大きな声援を送りました。

【市長学校訪問】10月15日（木）全学級

杉島理一郎市長が朝8時半に来校し、子供たちの教育活動を見ていただきました。木曜日の朝は、担任がその時間に教室にいる「チャレンジタイム」。高学年の「よむYOMUワークシート」に取り組んでいる様子や、チャレンジタイム後の「フッ化物洗口」をご覧いただきました。1校時の途中から1年生が「市長さんに何でも聞いちゃおう！」を企画してくれて、小学生の時に好きだった給食や教科、休み時間に何をしていたか、など次から次へと質問が出ました。杉島市長は、1年生にもわかるように丁寧に答えてくださいました。FMチャッピーの取材もあり、放送日は後日お伝えします。



【運動会】10月17日（土）

すっきりとした秋晴れの下、運動会を開催しました。10月になってからは天候も安定し、ほぼ予定通り練習ができました。



<赤組優勝>



<低学年：はちゃめちゃわちゃで めつ！だ！>



<中学年：エイサー>



<高学年：本物の漁師のように力強く～心に残るソーラン節～>

本校のHPをご覧ください。「校長のひと一言」は、毎日更新しています。時間があるときに読みください。